

本校で使用している教材教具を紹介します。



いくらかな？

ねらい

- ・3ケタの金額の理解
- ・硬貨の金種の理解

使い方

硬貨の写真が載っている数字の列に、数字と同じ枚数の硬貨をのせる。慣れたら、写真のないカードを使う。数字がゼロのところには「いりません」カードを貼る。



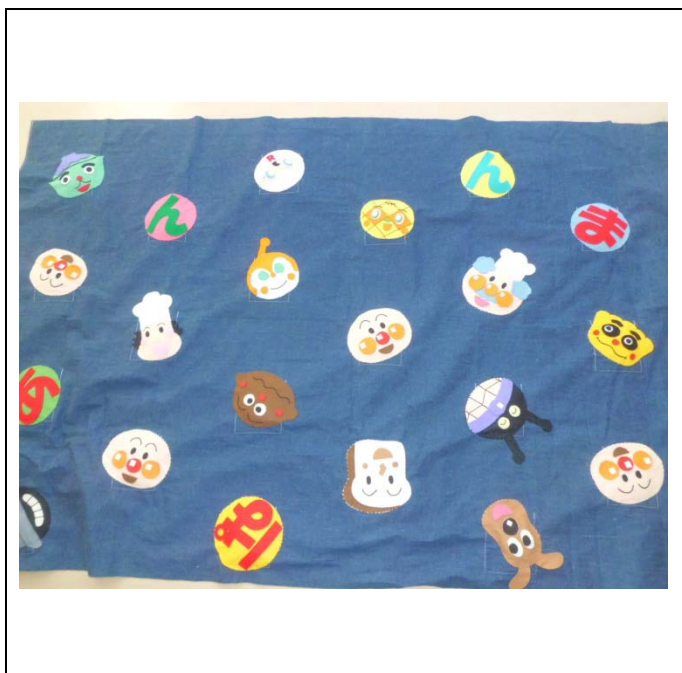
今の気持ちは？ どうしたい？

ねらい

自分の気持ちを表出できるようになる。

使い方

気持ちの穏やかな時に、事前にカードの説明をする。生徒の表情の変化をとらえてカードを見せて、今の気持ちと、して欲しいことを選ぶように働きかける。



アンパンマンの押し笛マット

ねらい

キャラクターを押しったり踏んだりすることで、音が出ることを楽しむ

使い方

- ・身体の不自由な児童生徒（臥位から立位まで）がマットの上に乗って、自分の身体が動いたことでアンパンマンのキャラクターが「ぷーっ」と鳴ることを楽しむ。
- ・キャラクターの当てっこをしたり、文字を読む学習にもなる。



遠足のしおり

ねらい
遠足の目的や内容を理解する

使い方
・事前学習で、DVD を観ながら遠足の1日の流れや目的を学ぶ。
・遠足のバス車中で見る。
・表紙にイルカやカニのイラスト(クラフトパンチ使用)を貼ることで、視覚からの学習に困難のある児童が触れて理解を深める



授業の流れ

ねらい
授業の流れを理解し、見通しや期待が持てるようになる。

使い方
・授業の『はじめ』に確認する。
・本人が「やること」の順番を決め、授業へのモチベーションを高くする。



自分でつかんで・・・

ねらい
手指機能の向上。

使い方
・数やお金の学習で使用する。
・操作しやすい角度や距離を考えて並べられるようにする。



線を描こう

ねらい

線(曲線、直線)のイメージを持って描く。

使い方

- ・壁にあたらないように意識して描く。
- ・横の動きや縦の動きなど、本人の状況に応じた方向で取り組む。



あいさつパズル

ねらい

- ・あいさつの練習をする。
- ・目と手の協応動作の練習をする。

使い方

教員がカードを呈示し、ードに示された絵のあいさつを児童が言う。その後、同じ絵にカードを重ねる。



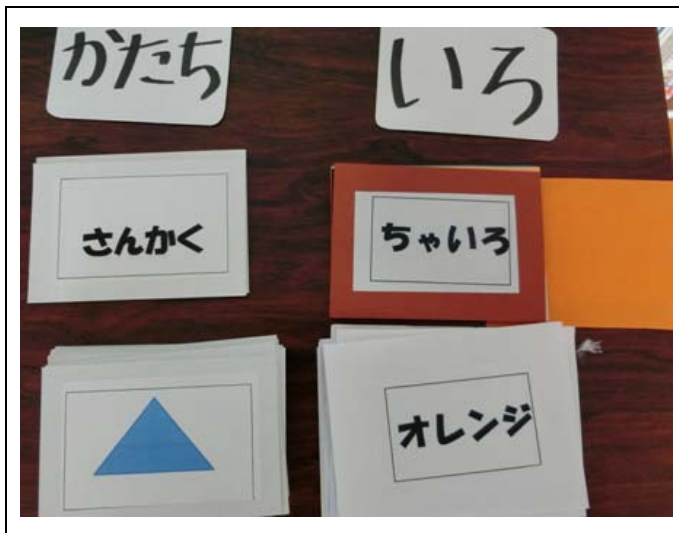
さわって読もう

ねらい

聴覚優位の子どもが絵本を理解する。

使い方

手を取って触ったり場面に合わせて動かしてみたりを支援しながら、読み聞かせをする。



色と形のひらがな

ねらい

ひらがなことばを1文字ずつではなく、「かたまり」「かたち」としてとらえて、意味を理解する。

使い方

- ・カルタ方式でマッチングする。



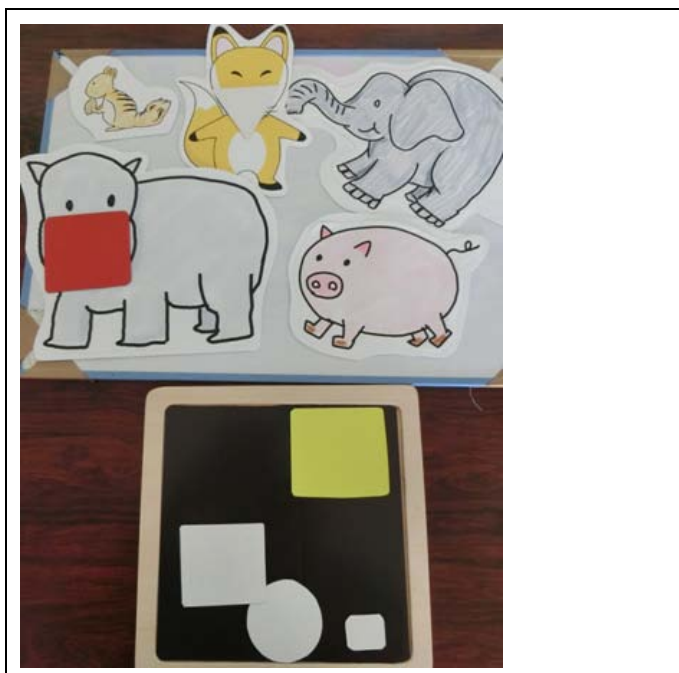
絵のマッチング

ねらい

同じ絵を合わせることができる。

使い方

上の絵を順に入れたり順番を変えたりしながら、絵の向きなども考えて並べるようにする。



「こん、こん、くしゃん」の歌

ねらい

歌いながら、楽しく動物の名前、色の名前、形の名前を覚える。

使い方

ホワイトボードの真ん中に1枚の動物を貼る。

「ぞうさんが、マスクした〜♪」「四角い(三角の、黄色いなど)マスクした〜♪」と歌いながら黒のボードから選んで貼るようにする。

黒のボードに貼る選択肢の数は児童生徒に合わせる。